

日本接着学会

日本接着学会誌投稿規程

1. 投稿資格

本学会誌に投稿する著者のうち、少なくとも1名は日本接着学会会員でなければならない。ただし、投稿者自身は非会員であっても、所属機関が法人会員(特別・維持・賛助会員)であれば差し支えない。また、編集委員会の承認を経た原稿は本規程外とする。

2. 著作権, 版権

本会誌に掲載された原稿についての著作権は、日本接着学会に帰属する。著者は著作権の日本接着学会への帰属・行使を了承し、投稿カードに明記する。ただし、著者本人の非営利の利用に関してはこれを妨げないが、利用の際は引用元を明示するものとする。

3. 原稿の分類

投稿原稿は研究論文(研究論文, 技術論文, 総合論文, 研究速報, ノート), 総説, その他とする。

4. 投稿原稿

原稿は本投稿規程および原稿執筆の手引きに従い、ワープロソフトにより作成する。A4用紙(たて), 26字×23行, 天地左右に25mm程度のマージンを取る。

5. 研究論文 (Original Paper)

研究論文は、接着に関する独創的な研究で価値のある結論あるいは事実を含み、印刷物として未発表のものに限る。ただし、口頭またはポスター発表にともなう予稿、活動報告書はこの印刷物に含めない。

6. 技術論文 (Technical Report)

技術論文は、接着に関する工業技術的な新しい工夫、考察、改良など応用面で価値のあるデータや方法を含むが、商品の宣伝を目的としてはならない。

7. 総合論文 (Comprehensive Paper)

総合論文は、接着に関する独創的な研究で、これまでの研究を総合的、系統的に論文にしたものである。これまで発表した内容を含んでいてもかまわない。他誌に発表された内容に関しては著者の責任で掲載許可の手続きをすること。

8. 研究速報 (Short Communication)

研究速報は、接着に関する新しい事実や興味あるデータなどを含んでいるが、未完成の研究報告である。研究速報は他種の原稿に優先して掲載され、その詳細は後に研究論文として投稿することを原則とする。

9. ノート (Note)

断片的でもその内容が未発表のものであり、学術的、技術的に価値があり、会員の研究に役立つデータ、あるいは研究・試験・検査過程における他に類を見ない新規で価値ある手法を記述した報文。

10. 総説 (Review)

総説は、特定の主題について現状の技術動向および研究開発状況、または報告レポートの要約や説明について会員読者の理解を深めるように記述したもの。

11. その他

“解説”は、日本接着学会誌編集委員会が企画する。時流に合致した接着技術や研究に関する内容とし、その内容の詳細については必要に応じて別途定める。5～10以外の項目・記載については編集委員会が決める。

12. 原稿受理年月日

原稿が本会に到着した日をもって受付日とし、審査終了日をもって受理日とする。

13. 審査・再提出

13.1 審査

編集委員会は原稿の内容および採否について審査を行う。

13.2 原稿の訂正

編集委員会は、審査中の原稿の内容および表現について加除、改正および字句の訂正などの変更を著者に求めることができる。

13.3 原稿の採否

原稿の採否は、編集委員会が決定する。

13.4 改訂・再提出

編集委員会から訂正を求められた原稿は、改訂・再提出すること。原則として、原稿が返送の日より2ヶ月以内に改訂・再提出(または、理由書を添えた延期願いの提出)されない場合は、提出の意思がないものとして処理する。返送日より2ヶ月以上後に改訂・再提出された論文は新規投稿とみなし、再提出日をもって受付日とする。

13.5 審査後の変更

審査が終了し受理された原稿は、編集委員会の承諾なしに変更することはできない。

14. 著者校正

著者校正は、原則として再校のときに1回行う。なお、この際、印刷上の誤り以外の字句の修正、あるいは原稿になかった字句の挿入は原則として認めない。また図版の修正は認めない。

校正刷りは、受け取り後3日以内に校正して返送すること。期限に遅れた場合は編集委員会の校正で校了とすることがある。

15. 英文による投稿

“Notes for Authors”を参照のこと。

16. 投稿経費

16.1 掲載料

総合論文、研究論文、技術論文、研究速報、総説およびその他については原則として無料とする。ただし、カラーの図や写真印刷など特別な依頼をする場合には、実費を支払わなければならない。

16.2 別刷

研究論文、技術論文、総合論文、研究速報、ノートの著者は、別刷を最低50部購入しなければならない。

17. 発行後の訂正

誤植以外の誤りの訂正は原則として取扱わない。

ただし、発行後6か月以内に著者から訂正の申し出があり、編集委員会が適当と認めた場合に限り訂正文を掲載することがある。

18. 原稿の送付

研究論文には英文要旨、本文、図、表共に正副2部(1部は複写でよい)を提出し、紛失、汚れなど不慮の事故に対処するため必ず複写を著者の手もとに保存しておくこと。また、本会所定の投稿カードを必ず付けること。投稿カードは日本接着学会のホームページ(<http://www15.ocn.ne.jp/~adhesion/>)からダウンロードできる。

19. 送付先

投稿、連絡、問い合わせはすべて下記とする。

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目2番20
コア日本橋203

日本接着学会誌 編集委員長宛

TEL: 06-6634-7561

FAX: 06-6634-7563

E-mail: info-hnb@adhesion.or.jp

日本接着学会誌別刷料(消費税8%含む・送料は実費)

部/頁	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50部	12,960	17,280	21,600	25,920	30,240	34,560	38,880	43,200	47,520	51,840
100部	17,280	21,600	25,920	30,240	34,560	38,880	43,200	47,520	51,840	56,160

1. 別刷の購入は著者校正の時点でお申出頂きます。その後の申出、追加は出来ません。
2. 別刷を上記表より数量を増したい場合は、50部単位の増とします。50部ごとの割増額は1頁ごとに1,080円(税込み)です。
3. 10頁以上の価格は、1頁増すごとに50部・100部共に4,320円(税込み)です。

論文 執筆の手引き
(投稿規程をよく読んでからご執筆下さい)

1. 原稿の形式

原稿は、日本語または英語で書く。日本語を用いる場合は原則として常用漢字を用いる。英数字は半角とする。日本語の原稿はワープロソフトにより作成する。A4用紙(たて)、26字×23行、天地左右に25 mm程度のマージンを取る。英語の場合には“Notes for Authors”を参照し、A4用紙に2段おき(double space)にする。

2. 研究論文の形式、長さ

2.1 研究論文 (Original Paper)

論文は、次の形式に従って書くことが望ましい。要旨、緒言、理論、実験、結果、考察、結言。このうちいずれかの項目を省くことはありうるが、要旨を省くことはできない。要旨は目的、方法、結果等を400字以内に要約する。Figure Caption, Figure, Tableは英語とする。論文の掲載量は原則として刷り上り5頁(原稿約4枚で刷り上がり1頁)程度が望ましい。

2.2 技術論文 (Technical Report)

書き方、原稿の長さは研究論文に準じ、要旨を添付する。原稿の第1枚目に〔技術論文〕と明記する。

2.3 総合論文 (Comprehensive Paper)

論文の形式は、研究論文に従うこと。論文の掲載量は原則として刷り上り10頁(原稿約4枚で刷り上がり1頁)程度までが望ましい。原稿の第1枚目に〔総合論文〕と明記する。

2.4 研究速報 (Short Communication)

原稿の長さは、原則として刷り上り2頁程度とし、記述は特に簡潔であること。原稿の第1枚目に〔研究速報〕と明記する。

2.5 ノート (Note)

原稿の長さは、原則として刷り上り2頁程度とし、記述は特に簡潔であること。原稿の第1枚目に〔ノート〕と明記する。

3. 英文要旨

原稿には、本文のほかに、必ず英文要旨(200語程度)をつける。英文要旨はワープロソフトにより作成し、2段おき(double space)に書く。英文要旨には、題名、著者名(full name)所属機関の公称英訳名および所在地を明記する。

英文要旨を読んだだけで論文の主旨が正確につかめる

ように注意して記述する。論文に記載された新しい理論や実験方法、実験結果の概要を、特にそのオリジナルな点に重点を置いて、なるべく具体的に書く。新しい実験方法については、その原理、測定する範囲および精度を示すこと。新たに得られた重要な数値や新化合物の物理定数は記載することが望ましい。

4. キーワード

英文要旨のつぎに、原稿の内容を表わしている英語キーワードを5語つける。

5. 参考資料

原稿の審査にあたって参考になる別刷などがあれば添付する。

6. 本文の書き方

6.1 表紙

原稿の第1枚目には題名、著者名、著者の勤務先あるいは所属機関の公式名および所在地を書く。

6.2 学会発表の記載

年会、講演会等で発表済みの研究については、原稿の末尾に発表年月日と講演会名を書く。

6.3 本文の区分け

本文の区分けはポイントシステムによる記号を用いて大見出し、中見出し、小見出し等を明瞭にすることが望ましい。例) 1 1.1 1.1.1 (1)(A)

6.4 文章、文字

文章は原則として常用漢字、現代かなづかいにより「である」体を用いて簡潔に書く。句読点は“、”、“。”、“”、“”、“()”など、ハイフン“-”等を用い、全角の1コマに書き、行を変えるときは1コマあける。外国の人名、会社名、地名などの固有名詞は原則として原語で書く。また、訳語のまぎらわしいものは原語を用いる。商品名は、その物質名を表示することができない場合に限り使用し、この場合、その商品のメーカー名等を商品名の次にかっこで囲んで表示する。

6.5 物質名

物質名で現在慣用されているものは、日本文字で書く。用語は、化学便覧(日本化学会、丸善)、学術用語集(文部科学省)などを基準とする。

また、化合物の命名は原則としてIUPAC命名法に従う。英文を用いる場合は、Chemical Abstracts、

IUPAC法またはISO 1382 Rubber Vocabularyを参考に
する。「IUPAC命名法」や「ポリマーの化学式や構
造式」は下記のWebsiteを参照すること。

<http://www.iupac.org/divisions/IV/IV.1/index.html>

<http://www.iupac.org/reports/IV/guide-for-authors.pdf>

例：methane, chlorobenzeneはメタン，クロロベンゼン。元素名や簡単な化合物は，通常用いられている和名で書く。

C₆H₆, CH₃CHO はベンゼン，アセトアルデヒド，O₂, H₂, H₂SO₄ は酸素，水素，硫酸。

6.6 量記号，数学記号

量記号，数学記号は，国際的に慣用されているJIS Z8201，8202に則して書くことが望ましい。なお，量記号はイタリックで書く。物理量の名称，単位，下付ならびに上付はローマン体で記し，物理量記号はイタリック体で記す。下付文字が物理量の一部である場合にはイタリック体で記す。

例 T_g (ガラス転移温度)， T_m (融点)， C_p (定圧熱容量)

6.7 単位

単位は，原則としてSI単位に従い，必要に応じて10¹²: T (テラ)，10⁹: G (ギガ)，10⁶: M (メガ)，10³: k (キロ)，10⁻¹: d (デシ)，10⁻²: c (センチ)，10⁻³: m (ミリ)，10⁻⁶: μ (マイクロ)，10⁻⁹: n (ナノ)，10⁻¹²: p (ピコ)等の接頭語を付す(たとえば m 以外にも cm, μm など可)。それ以外にも慣例上，下記の単位は定義せず
に用いてもよい。

記

長さ：m (基本単位)，Å

面積：m² (基本単位)，Å²

体積：m³ (基本単位)，L

質量：kg (基本単位)，g, ton

時間：s (基本単位)，min, h, d, year

温度：K (基本単位)，℃

角度：rad (基本単位)，°(度) (ただし，35°30'(分)は35.50°と表す)

力：N (基本単位，kgf は使用しないこと)

圧力，応力：Pa (基本単位)

粘度：Pa·s (基本単位)

エネルギー，熱量：J (基本単位)，eV

物質質量：mol (基本単位)

濃度：%W/W (質量分率)，%W/V, %V/V, mol/L, M (モル濃度)，phr (parts per hundred resin by weight)

電気・磁気・その他：A (電流：アンペア)，V (電圧：ボルト)，Ω (電気抵抗：オーム)，W (仕事率：ワット)，F (電気容量：ファラッド)，C (電荷(電気量)：クーロン)，S(電導度：ジーメン

ス)，Hz (振動数・周波数：ヘルツ)，H (インダクタンス：ヘンリー)，T (磁束密度：テスラ)，cd (光度：カンデラ)，pH (水素イオン濃度)，RH (相対湿度)，rpm (回転数) など

6.8 字体

日本語は，全角等幅フォント，英字は半角フォント，数字は半角のアラビア数字を使用する。

6.9 数式

数式の表記は，式として独立したものには

$$\frac{a}{b}$$

$$\frac{a+b}{c+d}$$

文中に出てくるものは， a/b , $(a+b)/(c+d)$ のように書く。

7. 図，表，スキーム

7.1 図，表，スキームの説明

すべて簡潔な英文とし，図，スキームの説明は図の下に，表の説明は表の上にそれぞれ記すこと。また，原稿には別に図，表，スキームの説明の一覧をまとめて添付すること。

単位は，軸の説明の後に()内あるいは / で区切って示す。

7.2 図，表，スキームの番号

Fig. 1, Fig. 2..., Table 1, Table 2..., Scheme 1, Scheme 2...のように記す。

7.3 用紙

図，表，スキームは，A4用紙に1つずつ作成すること。線の太さ，数字，符号および字句の大きさは刷り上りサイズやバランスに十分に配慮すること。図表は，本文と別に綴じて本文中に挿入場所を指示すること。

例

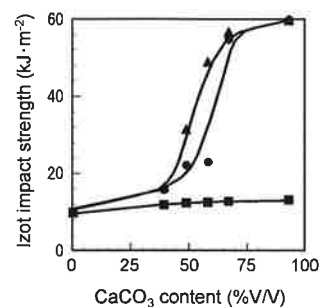


Fig. 1. Effect of CaCO₃ content on the Izod impact strength of PVC/CPE/CaCO₃ with various CPE contents of 5 (●), 10 (■) and 20 (▲) %V/V.

Table 2 Decomposition by monofunctional reagents of unsaturated polyester resin waste^{a)}.

Reagent	Catalyst	Reaction temperature (°C)	Reaction time (h)	Degradation percent (%W/W)	M_n	M_w / M_n
Ethanol	NaOH	200	3	16.4	228	2.08
Phenol ^{b)}	NaOH ^{b)}	250	5	48.1	359	1.18
Ethyl benzoate	Zinc acetate	280	3	35.6	191	1.31
Water	NaOH	200	3	24.6	154	1.31

^{a)} Portable reactor (Taiatsu Techno Co.) TVS-N2 200 mL, waste resin 2 g, reagent 20 g, catalyst 0.2 g.

^{b)} Phenol 10 g, NaOH 0.1 g.

8. 引用文献

引用文献は、下記の例のように書き、本文中の該当人名あるいは事項の右肩に³⁾のように通し番号をつけ、本文の最後にそれぞれの番号をそえてまとめて書く。記載順序は、著者名、雑誌名もしくは書名、巻数、開始ページ、(年号)とし、カンマで区切り、ピリオドで終了する。また巻数は太字で記載し、年号は()で、また書名は“ ”でかこむ。なお、巻数は、著作および講演要旨集等で省略できる。また、著作では出版社名を記載する。

欧文雑誌の略名は、化学便覧または“Chemical Abstracts”に従い、イタリックで記述する。和文雑誌の略名は“日本化学総覧”による。著者名は全員書き、漢字の場合は姓名、欧字の場合はイニシャルをつける。著者名は、漢字、欧字に関わらずカンマで区切り、欧字の著者名が複数存在する場合は、最後の2名をandで連結する。著者自身の未印刷の研究を引用する場合は、引用文献として審査終了の場合は「印刷中」、審査中の場合は「投稿中」と記し、著者名、投稿誌名を付記する。

Notes for Authors

Papers and Editorial Policy

Journal of The Adhesion Society of Japan publishes original research on all aspects of the science and technology of adhesion. Papers appearing in the Journal of The Adhesion Society of Japan comprise *Original Paper*, *Technical Report*, *Comprehensive-Paper*, *Note*, and *Short Communication*. Note and Short Communication are limited to less than 2 printed

例 文 献

- 1) G. Shi and L. T. Drzal, 日本接着学会誌, **41**, 42 (2005).
- 2) 黒崎涼三, 北野 武, 日本接着学会誌, **39**, 136 (2003).
- 3) 岩下 睦, 第31回日本木材学会大会要旨集, p.233 (1981).
- 4) 竹本喜一, 三刀基郷, “接着の化学”, 講談社, p.102 (1997).
- 5) 日本接着学会編, “接着ハンドブック第3版”, 日刊工業新聞社, p.855 (1996).
- 6) S. R. Culler, H. Ishida and J. L. Koenig, *J. Colloid Interface Sci.*, **109**, 1 (1986).
- 7) L. F. M. da Silva and R. D. Adams, *Proceedings of EUROADH 2002*, 31 (2002).
- 8) E. P. Plueddemann, “Silane Coupling Agents, 2nd edition”, Plenum Press, New York (1991).
- 9) U.S.P. 2,514,387.
- 10) 特許第3035179号.

9. 脚 注

脚注は 1. 2. 3. で示し、1 論文については通し番号で各原稿ごとに記載する。ただし、できるだけ使用しない方が望ましい。

pages. *Review* is also appearing in the Journal. Papers already published or scheduled to be published elsewhere will not be accepted.

Submission

Manuscripts should be submitted in one original and one copy to the Editor-in-Chief of the Journal of The Adhesion Society of Japan. The corresponding author's mailing address, phone number, fax number, and e-mail address should be included.

Manuscripts

Manuscripts must be written in English. Manuscripts should be written in double-spacing using A4 sized paper with 25 mm margins on all four edges of the paper. The pages must be numbered consecutively. Abstract and Key Words (5 words) should be placed between the title of the paper (including authors' names, affiliations, and addresses) and the text. Abstract should be written as concisely as possible, preferably in less than 200 words.

The text must be divided into the following sections: Introduction, Experimental (or Theoretical), Results, Discussion and Conclusions. Results and Discussion sections may be combined, if desired.

References

References to the literature should be numbered in one consecutive series. The following format must be followed.

- 1) S. R. Culler, H. Ishida and J. L. Koenig, *J. Colloid Interface Sci.*, **109**, 1 (1986).
- 2) R. J. Arenz and R. F. Landel, *J. Polym. Sci.*, **20**, 363 (1982).
- 3) L. F. M. da Silva and R. D. Adams, *Proceedings of EUROADH*, **2002**, 31 (2002).
- 4) E. P. Plueddemann, "Silane Coupling Agents, 2nd edition", Plenum Press, New York (1991).
- 5) U.S.P. 2,514,387.

Units

SI unit must be used.

Reviewing and Revision

All manuscripts submitted to the Journal of The Adhesion Society of Japan are reviewed prior to publication. The editors may ask that a manuscript be revised. Requested revisions must be submitted as soon

as possible. If the revised paper is not submitted within two months, and the reason for the delay is not acceptable, or not given, the manuscript may be regarded as having been withdrawn. Revised manuscripts should be submitted in duplicate. The revised manuscripts must be accompanied by the original manuscript and also must be accompanied by a covering letter of response to each of the comments of the reviewers and a list of changes made in the original.

Copyright

The copyright of every paper published in the Journal of The Adhesion Society of Japan shall be transferred to the Adhesion Society of Japan. Copyright Transfer Form: All contributors are requested to send manuscripts with the Copyright Transfer Form. "Copyright Transfer Form" is available to be downloaded at our website.

Galley Proofs and Reprints

Only the first galley proofs are sent to the author. The author can correct typographical errors only. Reprints should be ordered at the time when the galley proofs are returned to the Editorial office of the Journal of The Adhesion Society of Japan. The author must order at least 50 reprints. The price of reprints is shown below.

Manuscripts should be sent to:

Editor-in-Chief of Journal of The Adhesion Society of Japan
Japan
The Adhesion Society of Japan
Koa Nipponbashi 203
4-2-20, Nipponbashi,
Naniwa-ku, Osaka 556-0005, Japan
E-mail: info-hnb@adhesion.or.jp
URL: <http://www.adhesion.or.jp>

Price of reprints.

Printed pages	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
50 copies	12,960	17,280	21,600	25,920	30,240	34,560	38,880	43,200	47,520	51,840
100 copies	17,280	21,600	25,920	30,240	34,560	38,880	43,200	47,520	51,840	56,160

(Japanese Yen)

日本接着学会誌投稿カード

※太枠内のみ投稿者が記入してください

原稿の分類		受付日	受理日	受付連絡日	受付No.		
研究論文・技術論文・総合論文・研究速報・ノート							
和文題目							
英文題目							
著者氏名 (連絡者)	所 属	所 在 地 E-mail			TEL / FAX		
会員番号 ()		〒 E-mail :					
連 名 投 稿 者	氏 名	勤 務 先 (所属)			会員番号		
本文 枚	Fig. 枚	Table 枚	Scheme 枚	和文要旨 枚	英文要旨 枚	その他 枚	
カラー掲載を希望する図表 <input type="checkbox"/> あり(図表番号) <input type="checkbox"/> なし				図表の説明文 枚	総 計 枚		
<p>原著確認と著作権の帰属・行使に関する確認</p> <p>1. 貴会投稿規程に基づき、この原稿が著者の原書であることを確認します。</p> <p>2. この原稿の著作権の帰属ならびに著作権の行使に関し、貴会著作権規定を遵守することに同意します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 著者(代表者) _____ ㊞</p>							
審査員	送付日	返着日	結果	備考	電子データ	審査終了 通知日	備考
					別刷り	印刷日	著 校
							~
掲載号/連絡日		Vol.	No.	/		指名依頼日	

Date of Received _____

Manuscript No. _____

Copyright Transfer Form

The Adhesion Society of Japan

Author (s)
[Type or Print]

Title of Paper
[Type or Print]

Copyright Transfer

I certify that the above-named paper has not been reported in prior publication and is not under consideration for publication elsewhere in any medium. I hereby agree to transfer to The Adhesion Society of Japan the copyright of the paper, when it is accepted for publication in Journal of The Adhesion Society of Japan. The Adhesion Society of Japan shall have the right to publish the paper in any medium of form, or by any means not known or later developed.

The author(s) reserve(s) the following:

- (1) All proprietary rights other than copyright such as patent rights.
- (2) The right to use all or part of this paper in future works of their own, such as books and lectures.

I represent and warrant that I am authorized to execute this transfer of copyright of the paper referred to above on behalf of all the authors.

Name
[Type or Print] _____

Signature _____

Mailing Address
[Type or Print] _____

Date
[Type or Print] _____